

## 船で 自転車で 利根川の風を満喫しませんか



「おほり小堀の渡し」は、市内中心部と利根川を挟んだ小堀地区を結ぶ市営の渡し船です。大正3年に運航が始まり、現在は利根川下流唯一の渡し船で、誰もが乗船できる観光船として活躍しています。自転車と一緒に乗船することもでき、1人1台まで無料です。また、利根川サイクルステーションでは、レンタサイクル（自転車の貸し出し）を行っています。利根川の風を感じながら、水上散歩やサイクリングを楽しみませんか。

☎ 水とみどりの課 ☎ 内線1534

船名：とりで（愛称：KAWASEMI）

東京芸術大学美術学部長・日比野克彦氏が船体色のデザインをしました。船体色は「市の鳥『カワセミ』にちなんだもので、カラフルで水面に映ったときの輝き」をイメージしたものです。

### 1 小堀の渡し

運航経路 小堀→取手緑地運動公園駐車場前→取手ふれあい棧橋→小堀



**料金**  
対岸まで 200 円（往復 400 円）  
※駐車場前乗船→ふれあい棧橋  
下船も 200 円。  
未就学児、小堀住民、乗船に介  
護が必要な障害のある方と介護  
者は無料。小学生は半額。

運航時間（一周約50分）

小堀発	9:00	10:00	11:00	13:00	14:00	15:00	16:00
駐車場前発	9:20	10:20	11:20	13:20	14:20	15:20	16:20
ふれあい棧橋発	9:35	10:35	11:35	13:35	14:35	15:35	16:35

運休日 水曜日・年末年始

乗船人数 当面の間は乗船人数を12人から8人に制限しています。

◎渡しの由来や古利根沼の河岸跡周辺を案内する小堀の渡しミニツアーは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止中です。

#### ▶大正時代から続く、小堀の渡しの歴史

かつて利根川は市の南（現在の古利根沼）を蛇行して流れ、水害が絶えませんでした。そこで、明治から大正時代にかけて利根川改修工事が行われ、現在の流れになりました。その結果、小堀地区と市内中心部は利根川で分断されたため、交通に不便を感じた地域住民の手で大正3年に渡し船を運航したのが小堀の渡しの由来とされています。

### 2 レンタサイクル（無料）

貸出場所 利根川サイクルステーション（地図参照）



貸出日・時間 3月20日から11月30日までの土・日曜日、祝日  
9:00～16:00

自転車 子ども用5台、大人用12台（内チャイルドシート付き2台）、電動アシスト付き3台（内チャイルドシート付き1台）、タンDEM自転車2台、キックバイク2台、ミニベロ（小径車）3台、マウンテンバイク3台、合計30台

利用範囲 利根川と小貝川の周辺区域  
※詳細は、利根川サイクルステーションで配布の地図やホームページをご確認ください。

申込 直接：本人確認書類を持参の上、利根川サイクルステーションまで



タンDEM自転車



電動アシスト付き



キックバイク